

一、総務課（選挙管理委員会事務局）

日 程	令和6年9月3日（火）
会 場	第1会議室
開 会	午前10時00分～午前10時32分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	三浦課長、川村補佐、石井補佐、高橋係長、見上係長、相沢主査
No.	質疑応答の概要
	一般会計
1	P18 自衛隊基地交付金について、交付基準は。また、毎年同額か。 答 市町村に設置されている自衛隊基地等の面積等に応じて国の予算の範囲内で交付されるもので、交付額は年々減少傾向にあり、令和4年度比較では54千円の減となっている。
2	P20 普通地方交付税について、今後の見込みは。 答 令和3年度が追加交付によりピークとなっており、今後は、下がるものと見込んでいる。
3	P42 財政調整基金について、決算残高は。また、今後の見込みは。 答 決算残高は約45億円であり、今後は、積立額より少しずつ取崩額が増えるものと見込んでいる。
4	P42 合併振興基金について、ソフト事業に充当できるという認識でよいか。また、たつの子会保育園整備費補助金交付事業への充当額は。 答 ソフト事業に充当できるものであり、たつの子会保育園整備費補助金交付事業への充当は、備品費として9,986千円充当している。

一、企画政策課

日 程	令和6年9月3日（火）
会 場	第1会議室
開 会	午前10時37分～午前11時32分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	加藤課長、門間補佐、伊藤補佐、大村係長、渡辺係長
No.	質疑応答の概要
	一般会計
5	P28・34・82 国庫補助金の地域公共交通確保維持改善事業費と県補助金の秋田県生活バス路線等維持費について、同額が交付されるのか。また、生活バス路線等維持費に充当されているのか。 答 国庫補助の交付決定に基づき、県も同額補助することになっているもので、これらの補助金は、ふれあいバス関係経費に充当される。そのため、秋北バスに助成している生活バス路線等維持費は、町単事業である。
6	P42 ふるさと元気づくり寄附金について、令和4年度比は。 答 金額にして約2千万円、1,400件ほどの増となっている。令和5年10月から、総務省の指示により事務費は寄附額の50%以内とされたが、その影響は少ないように思われる。
7	P42 企業版ふるさと納税寄附金について、件数は。 答 8件である。
8	P44 ふれあいバス五明光地区乗入れ負担金とは。 答 男鹿市からの要請によりふれあいバスを五明光まで延伸した分について、その距離に応じた負担金を収入しているものである。
9	P68 男女共同参画社会づくり基礎講座講師謝礼について、関連事業を展開しているか。 答 令和5年度は関連事業はない。令和6年度において、企業アンケートによりニーズ等の把握に努めたい。
10	P76 住民共助による地域づくり活動助成金について、助成額は妥当であったか。 答 現状に対する要望等はないため、妥当な助成と認識している。
11	P80 ふるさと納税業務委託料について、委託料は何%か。 答 中間管理事業者への委託料は5.5%、各サイト利用料については、取扱い事業者によって異なっており、11～13%ほどである。
12	P80 結婚祝金について、実績6件は結婚して三種町に住んだ件数か。また、この実績をどのように捉えているか。 答 その通りである。結婚件数が減少しているのではなく、三種町に住む人が減っているのではないかと考えている。

No.	質疑応答の概要
1 3	P80 みたね会議講師謝礼について、そのねらいは。 〔答〕 町内で活動している人材の発掘を行い、その参加者同士のつながりが生まれ、最終的には起業されることを期待している。
1 4	P80 住宅取得支援補助金について、実績の新築21件・中古6件のうち、町外からの転居者数は。 〔答〕 新築3件である。
1 5	P80 出会い創出事業について、町が把握している成婚数は1組ということだが、補助金を支出している以上、追跡調査等が必要ではないか。 〔答〕 主催者と参加者のつながりなど、課題を整理して実績の把握に努めたい。
1 6	P82 ふれあいバス運行業務について、令和4年度比で500人ほどの利用者減となっているが、その要因及び利用者を増やす対策は。また、今後の課題は。 〔答〕 利用者の入院・施設入所が利用者減の最大の要因と捉えている。ふれあいバスは、移動制約者の利便を図るツールと考えており、利用者を増やすということを目的としていない。今後の課題については、高齢化していく運転手の確保と考えている。

一、議会事務局（監査委員事務局）

日 程	令和6年9月3日（火）
会 場	第1会議室
開 会	午前11時41分～午前11時49分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	池内主席主査
No.	質疑応答の概要
	一般会計
1 7	P58 議員共済組合負担金について、議員年金支給額は毎年一定の減少か。 ☐ 答 喪失件数（受給者・遺族の死亡）が異なるので、一定ではない。
1 8	P58 会議録反訳業務について、会議録完成までの流れは。 ☐ 答 会議終了後、初稿がおおよそ2週間ほどで届くので、その校正を事務局職員が2月ほど掛けて行い、さらに10日ほどで会議録として納品される。
1 9	P58 備品購入費の議場用椅子の内訳は。 ☐ 答 傍聴席の報道関係者席5席分を更新したものである。

一、税務課

日 程	令和6年9月3日（火）
会 場	第1会議室
開 会	午後1時00分～午後1時19分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	石井課長、三浦補佐、阿部補佐、舘岡係長、湊係長

No.	質疑応答の概要
	一般会計
20	P12 固定資産税の収納率について、他税と比べて低い、空家の状況が影響しているのか。 国民健康保険事業勘定特別会計
21	P203 納税方法について、口座振替を利用していない人もいるのか。
22	P203 納税組合の減少は、収納率に影響があるか。

一、農林課

日 程	令和6年9月3日（火）
会 場	第1会議室
開 会	午後1時30分～午後2時45分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	小玉課長、平塚補佐、岩谷補佐、大高係長、木村係長
No.	質疑応答の概要
	一般会計
2 3	P14 森林環境譲与税について、松くい虫対策に使うことはできないのか。 答 使途としては可能であるが、松くい虫対策については別予算があり、森林環境譲与税は生産性のある森林整備に充てることとしている。
2 4	P20 農林水産業費分担金の収入未済額については、長い間動きがないのか。 答 不納欠損処理できないか財産調査を行ったところ、財産が確認されたため、対応については再度検討しているところである。
2 5	P52 ため池等整備事業債について、2年前の水害で堤防が崩壊したため池の復旧に係るものか。 答 そのとおりである。
2 6	P128 主食用水稻種子購入費助成事業について、種子とは「あきたこまち」のことか。 答 品種問わず、主食用として販売された全ての種子が対象である。
2 7	P130 畜牛農家は何軒か。また、飼育頭数は。 答 肉用繁殖牛農家、肥育牛農家、酪農家合わせて4軒である。肉用繁殖牛農家は48頭ほど、酪農家は300頭ほどで、肥育牛農家については、回転が速く、30頭から40頭ほどと思われる。
2 8	P130 放牧場は何か所か。また、その放牧場で対応できているか。 答 本町の放牧場は大沢牧場1か所であり、利用するのは肉用繁殖牛農家の2軒のため、対応できている。
2 9	P130 農村公園維持管理業務について、概要は。 答 光熱水費、草刈り費用、撤去を含めた遊具の点検業務である。
3 0	P132 多面的機能支払交付金事業について、その用途は。 答 農業に関連する伝統文化の祭事や、有害鳥獣対策としての農地周辺の環境整備などである。
3 1	P134 鳥獣被害対策実施隊員報酬について、報酬等に関する要望はあるか。 答 ない。
3 2	P134 ナラ枯れ被害木伐倒処理業務について、ナラ枯れは広がっているか。 答 県の資料によると、令和2年をピークに減ってきている。

No.	質疑応答の概要
3 3	P134 有害鳥獣被害対策費について、対象は。また、令和5年度の熊の捕獲数は。 答 熊、猪、カラスを対象としており、熊は65頭捕獲している。
3 4	P134 再造林等促進事業について、概要は。 答 県事業により森林組合や企業等が再造林や下刈りを行った場合に、町からも10%分を補助するものである。
3 5	P135 水産振興費とあるが、どのような事業が行われているか。 答 船の発着のために砂浜を均す事業や、漁協に対する補助金等である。
3 6	P190 農地農業用施設災害復旧事業について、1億円以上の不用額が生じているが、令和6年度に繰り越されるのか。 答 様々な事業において入札請差や経費の節減等が図られたことによって生じたものであり、繰越金とはならない。

一、商工観光交流課

日 程	令和6年9月4日（水）
会 場	第1会議室
開 会	午前10時00分～午前10時34分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	清水課長、川村補佐、田中係長、近藤係長、工藤主事

No.	質疑応答の概要
	一般会計
3 7	P122 地域雇用創出推進事業について、人手不足対策は。 答 正規雇用を促進するために新規雇用奨励事業を、業務効率化を図るために機械設備投資事業を展開している。なお、求人事業については、令和6年度からの実施となる。
3 8	P136-138 C C Sプラント誘致事業について、支出内容は。 答 要望活動に係る消耗品費、旅費等である。
3 9	P137 地域おこし協力隊事業の支出済額は、なかったということか。 答 観光振興業務を担う協力隊の募集に応募がなかったためである。
4 0	P138-142 観光一般について、不用額が多くないか。 答 節として特段に多額な不用額はない。各科目における不用額を積上げた結果であり、予算執行率も97.39%である。
4 1	P138 地域商品券（プレミアム付き商品券）発行事業補助金について、発行数及び換金率は。また、未発行分を残さないための対策は。 答 21,316/22,000セット発行し、99%の換金率であった。なお、令和5年度の発行は全て町単事業であったため、申込分までの対応とした。
4 2	P140 施設管理業務委託料に関連して、類似施設の統合・用途変更等は検討しているか。 答 各施設とも利用者が多く、また、釜谷浜海水浴場についても観光資源として有効に活用されているため、現段階では検討していない。
4 3	P140 サンバリオ管理費について、不用額が多くないか。 答 ボイラー修繕工事や冷蔵庫購入などの入札請差によるものである。
4 4	P142 森岳温泉街活性化事業について、不用額が多くないか。 答 森岳温泉活性化イベント事業（観光マップ制作やイルミネーション事業など）に対する補助金の支出はあったが、森岳温泉街店舗開業支援事業補助金（2件分）については、申請がなかったためである。
4 5	P142 イベント支援事業補助金について、予算不足ということはないか。 答 協賛金の呼びかけを強化したり、経費削減をすることで、継続開催を目指したい。

No.	質疑応答の概要
4 6	P142 サンドクラフト実行委員会補助金について、令和４年度比は。また、今後も開催日程は１日とするのか。 答 ほぼ横ばいである。開催日程については、都度、役員会で決定していく。

一、会計課

日 程	令和6年9月4日（水）
会 場	第1会議室
開 会	午前10時38分～午前10時42分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	皆川課長、成田補佐
No.	質疑応答の概要
4 7	一般会計 P22 コピー使用料について、令和4年度比は。 答 町民利用が増え、1万円ほどの増となっている。

一、農業委員会事務局

日 程	令和6年9月4日（水）
会 場	第1会議室
開 会	午前10時45分～午前10時57分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	見上事務局長、渡邊主任、寺沢専門員
No.	質疑応答の概要
4 8	一般会計 P121 農業委員会費全般に関連して、農地集約の状況はどうか。 ☐ すでに大部分の集積が進んでいるが、相手を替えての新規や、再設定が同じくらいとなっている。
4 9	P121 農業委員会費全般に関連して、条件の厳しい農地をどのように扱っていくか。 ☐ 農地移動のあっせんの申込を受けたり、個人間でのやり取りを勧めたりしている。
5 0	P124 農業者年金加入推進員報償費について、農業者年金の加入条件は。また、令和5年度の新規加入者は。 ☐ 農業に60日以上従事している国民年金第1号被保険者が対象となる。なお、令和5年度の新規加入者はいない。

一、教育委員会事務局・教育機関

日 程	令和6年9月4日（水）
会 場	第1会議室
開 会	午後1時00分～午後2時05分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	牧野次長、国塚補佐、木村補佐、相原補佐、川村補佐、梅田係長、 児玉係長、大高係長、笹村主席主査
No.	質疑応答の概要
	一般会計
5 1	P24 琴丘歴史民俗資料館の使用料について、来館者が少ないか。 答 来館者は192人で、有料入館者56人、減免136人となっている。
5 2	P48 学校給食費負担金について、1食当たりの負担は。 答 給食単価については、小学校245円、中学校285円であり、第1子・第2子の保護者は半額負担になっている。
5 3	P54 山本中学校法面補修事業債（緊急自債）について、概要は。 答 正式名称が「緊急自然災害防止対策事業債」で、充当率100%、交付税参入率70%の起債となっている。
5 4	P160 部活動地域移行検討委員報償金に関連して、部活動の地域移行の進捗は。 答 基本的には現在の部活動を残し、拠点校方式により行う方向で検討している。休日の部活動については、可能な部活動は地域に移行したいと考えている。
5 5	P163 外国青年招致事業費の財源は。また、教育委員会は旅費や負担金の支出はあるようだが、報酬の取扱い。 答 町の一般財源である。報酬については、会計年度任用職員のため、総務課が支出している。
5 6	P164 要保護及び準要保護就学援助費について、概要は。また、要保護と準要保護では支給額が異なるのか。 答 要保護は生活保護を受けている世帯で、準要保護はひとり親世帯や経済的理由のある世帯であり、それらの家庭に対して就学援助するものである。要保護については、生活保護から支給されるため、町が関わる部分は少ない。また、支給額は学年ごとに必要なものが異なるので定額とはなっていない。
5 7	P164 関連して、中学校の制服についてはどのように対応しているのか。 答 入学資金として支給している。
5 8	P166 Z o o mライセンス使用料について、学校での活用方法は。 答 学習発表会を外部配信したり、コロナによって学校に登校できない生徒と学校をつないで朝の会を行ったり、不登校の生徒とのコミュニケーション・学習を進めたりしている。

No.	質疑応答の概要
5 9	P170 山本中学校法面工事について、危険区域は解消されたか。 県に、早めに調査を行ってもらえるよう要望している。
6 0	P172 英語検定受験料補助金について、単価及び受験者数は。また、合格者数は。 単価は級によって異なる。受験者数は延べ268人、合格者数は129人である。
6 1	P174 芸術鑑賞会委託業務についての集客数は。 160人ほどである。
6 2	P176 琴丘歴史民俗資料館管理業務に関連して、資料館の開館状況は。 月曜、第3水曜日が休館日で、火曜・水曜・土曜・日曜日は管理人が対応し、木曜・金曜日は予約があれば職員が対応している。なお、冬季（12月～3月）は休館している。
6 3	P180 スポーツ・文化合宿誘致事業補助金について、令和5年度の利用者数は、令和4年度と比較してどうか。 令和4年度実績が63団体2,399人だったのに対し、令和5年度は73団体2,919人と増加している。

一、付帯意見の協議

本分科会に付託された事件を審査した結果、意見は付けないこととする。

上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

総務政策分科会委員長 平 賀 真